

中央図書館と利用者みなさんをつなぐ広報誌

ざ・ちゅうおうぶれす

108

November 2023



特集

もっともっと
みんなが楽しめる図書館に

イベントレポート

としょかんバリアフリー企画

さわってつくって点字であそぼう！

調べ学習・図書館のお仕事に挑戦！！「子ども読書リーダー講座」

10代向けワークショップ「ショートショートの手書き講座」

「夜のこわいおはなし会」

読書の秋の講演会「落語と読書」





Special Feature

もっともっと みんなが楽しめる 図書館に

世田谷区立中央図書館は、赤ちゃんから大人、日本語を母国語としない方、何らかの理由で読むことに困難を感じている方まで、誰もが楽しく本が読めるような図書館をめざしています。

世田谷区立図書館はこれまで、電算オンラインシステムの導入や電子書籍サービスの開始など、時代とともに大きく変化してきました。

また、平成22年3月に「世田谷区立図書館ビジョン」および「第1期行動計画」が策定されてから今年で13年。ずっと変わらないのは、みなさんの「知と学びと文化の情報拠点」でありたいということです。

現在、「第2次世田谷区立図書館ビジョン第3期行動計画」の中で、重点的に取り組んでいる項目の中に、①多言語対応や多文化理解に対応した資料の充実、②障害者・高齢者・多文化サービスの充実、があります。小学校から英語を学び、いろいろな国籍の方も増えるなど、グローバルな言語環境に対応すべく、図書館でも日本語以外の資料を充実させています。また、高齢や障害などにより、本や図書館の利用が難しい方への読書環境の整備を進めています。「第3次世田谷区立図書館ビジョン」を令和6年3月策定に向け検討中です。今号では、そんな中央図書館の変化や新たな取り組みについてお知らせします。



としょかんバリアフリー企画 さわってつくって点字であそぼう！



みなさんは「点字」を読んだことはありますか？世田谷区立図書館にも「点字」の資料がありますので、ご覧になった方もいらっしゃるでしょう。しかし、実際に点字にふれたり、読んだりする経験はなかなかないのではないのでしょうか。

7月15日（土）に行われたバリアフリー企画の講演会には、親子づれなど点字に関心のある方が参加され、タイトルどおり、さわってつくって楽しい時間をすごされました。



指先の感覚をたよりに迷路を進みます

さわる

第1部では、「手で見る学習絵本『テルミ』」の編集長でもある、スギヤマカナヨさんを講師にお招きし、実際に『テルミ』を使い触図や点字の迷路などをさわってワークショップを楽しみました。点字の文字を指で読むのは、なかなか難しいですが、点で表現されているイラストや迷路をたどり、新鮮な感覚で楽しんでいるようでした。



つくる

第2部では、はじめに「世田谷点訳奉仕グループてんとうむし」さんに、点字のしくみや読み方を教えていただきました。つぎに、実際に自分の名前などを点字でうち、素敵な名刺やしおりを作成しました。「NPO法人世田谷区視力障害者福祉協会」のみなさんとも名刺交換をするなど、点字での交流を楽しむことができました。



自分でつくった点字の名刺を福祉会のみなさんに手渡し、読んでもらいました



講師 スギヤマカナヨさん

絵本作家・手で見る学習絵本『テルミ』編集長

著作に「てがみはすてきなおくりもの」（講談社）

「やっぱり犬がほしい」（アリス館）など多数。

「手でみるっておもしろいよね。いつもとは違った感覚、違った方法を知ることは自分が進化するってことなんだ。今日、参加したみんなは、昨日の自分とは違っているはず。進化している。進化しているってことは、世界がちよっとよくなるってこと！今日は、みんなと一緒に『テルミ』が楽しめてうれしかったです。」



『テルミ - 手で見る学習絵本 -』

2023年8・9月号

発行所：日本児童教育振興財団

協力：小学館



図書館利用に支援を必要とする方へ

図書館のバリアフリーサービス

世田谷区立図書館では、対面朗読や、点字・録音図書などの貸し出しに加え、近年では、コロナ禍の生活様式やICT(情報通信技術)の進歩で、出かけなくても、パソコンやスマホにダウンロードする電子書籍やインターネット図書館「サピエ図書館」の利用など、読書の選択肢がさらに広がっています。小さい字が読みづらいつと感じている方はいらっしゃいませんか。図書館には次のようなサービスがあります(障害者サービス登録が必要なものと、一般登録で使えるものがあります)。

● 点字・録音図書

点字の本やマルチメディアデジター(※2)やデジター図書(※3)朗読CD、大活字本、拡大読書器もあります。世田谷区にないものは、全国の点字図書館やサピエ図書館(※1)から借りたり新しく作成したりすることもあります。

● 自宅配本

障害等のため来館困難な方のご自宅へ図書館の資料をお届けします。

● 対面朗読

音訳ボランティアの方が図書館の本や持ち込み資料をお読みします。

● サービスの案内・ご相談

中央図書館の地下1階カウンターでマルチメディアデジター(※2)やデジター図書(※3)をお試しできます。サピエ図書館(※1)の個人利用登録についてもお受けします。

また、サービス利用についてのご相談や、他施設で行っている視覚障害者とご家族向けパソコン教室のご案内なども承っています。ご予約いただくとより詳しくご案内できます。どうぞご利用ください。

● 世田谷区電子書籍

世田谷区電子書籍サービスには、音声読み上げのできる資料もあります。

● 学校などへの団体貸出や訪問

弱視児童の通級教室などの特別支援学級や福祉施設へ、大活字本や字の大きな絵本、デジター図書(※3)などを貸出します。また、マルチメディアデジター(※2)を使つての出張おはなし会なども行っています。



マルチメディアデジターなどを団体貸出しています

※1 サピエ図書館とは

視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」。全国のボランティアが作成したデジター図書や点字図書データ、マルチメディアデジターなどが集約されており、ダウンロードして利用できます。個人利用は無料登録をお受けしています。図書館での障害者サービスの登録が必要です。

※2 マルチメディアデジターとは

文字と読みと絵を統合して視聴できる映像図書。読んでいる文字の色が変わり、字の大きさや読みの速さを好みに合わせて変えることができます。

※3 デジター図書とは

ボランティアが読んだ音声を目次から読みたい章や任意のページに飛べるようにしたデジタル図書。読みの速さも変えることができます。

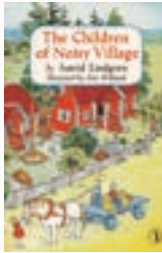
いろいろな国の言語で本を読む方へ



中央図書館に海外の児童書が新たに100冊ほどやってきました。長い間親しまれている名作から近年出版された本まで幅広く取り揃えました。翻訳されたものと読み比べてみると表現や言葉の違いが楽しめます。言葉がわからなくとも挿絵や装丁の違いなど、おもしろい発見があるかもしれません。

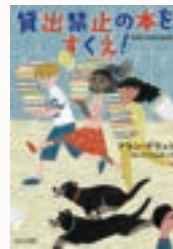
今後は、英語に限らず、中国語（繁体字、簡体字）、ベトナム語など、多言語の児童書も所蔵する予定です。

『やかまし村の子どもたち』 『The children of noisy village』



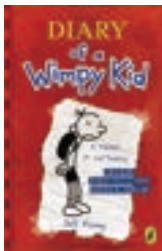
『やかまし村の子どもたち
(リンドグリーン・コレクション)』
作：アストリッド・リンドグリーン
絵：イングリッド・ヴァン・ニイマン
訳：石井登志子
岩波書店

『貸出禁止の本をすくえ!』 『Ban this book』



『貸出禁止の本をすくえ!』
著：アラン・グラッツ
訳：ないとうふみこ
ほるぷ出版

『グレッグのダメ日記—グレッグ・ヘフリーの記録—』 『Diary of a wimpy kid-Greg Heffley's journal-』



『グレッグのダメ日記
—グレッグ・ヘフリーの記録—
(グレッグのダメ日記 (1))』
作：ジェフ・キニー
訳：中井はるの
ポプラ社

『チョコレート工場の秘密』 『Charlie and the chocolate factory』



『ロアルド・ダールコレクション2
チョコレート工場の秘密』
著：ロアルド・ダール
絵：クエンティン・ブレイク
訳：柳瀬尚紀
評論社

9/10(日)に開催しました

「世界のことばで読み聞かせ」

この日のおはなし会は、英語、ベトナム語、インドネシア語、日本語による読み聞かせを行いました。30人ほどが参加し、いちばん小さな参加者は1歳でした。外国語と日本語で絵本を読むので、そのことばがわからなくても、お話の内容だけでなく、ことばの響きも楽しめます。その国について書かれている図書館の本から、街の様子や食べものを紹介し、さらにベトナムの子守り歌も披露されました。いつもの静かなおはなし会とは違って、にぎやかで、あまりかしこまっていないため、小さなお子さんでも参加しやすいところも魅力のひとつです。世田谷区在住の外国につながる家族や海外で暮らしていた子どもたちが積極的に参加しています。

「世界のことばで読み聞かせ」は奇数月の第2日曜日に開催されています。ぜひ足を運んでみてください。



『くつつあるけ』を日本語とベトナム語で



『くつつあるけ
(福音館あかちゃんの絵本
くつつあるけのほん1)』
さく：林明子
福音館書店

調べ学習・図書館のお仕事に挑戦!!

7/22(土)・7/26(水)に開催しました

「子ども読書リーダー講座」

7月22日、26日の2日間、第12回子ども読書リーダー(子ども司書)講座を開催しました。

図書館の本を利用した調べ学習や図書館見学、本の装備体験やおはなし会の実演など、内容もりだくさんで実施した今回。子どもたちは、それぞれの活動に熱心に取り組んでいました。

これを機会に、図書館をもっと好きになって、たくさん利用してくれるとうれしいです。また、子ども読書リーダーとして、周囲の人に本の楽しさを伝えていってほしいと思います。



子ども読書リーダーのみなさん



講師
山本さゆり先生

10代向けワークショップ

「ショートショート of 書き方講座」

ショートショート作家の田丸雅智先生をお迎えし、創作ワークショップを開催しました。当日は小学生から高校生まで、幅広い10代の方にご参加いただきました。

参加した皆さんの作品は、世田谷区の電子書籍サービスで公開中です!

言葉(名詞)の組み合わせを非日常へと飛躍させ、生まれた不思議な言葉から作り上げる、ショートショートの世界を、ぜひお楽しみください。

7/29(土)に開催しました



子どもたちの発表を見守る田丸雅智先生



『海色の壺』
著：田丸雅智
出版芸術社

「夜のこわいおはなし会」

8月9日午後7時過ぎ、閉館後の真っ暗な図書館で、夜のこわいおはなし会を開催しました。勇気ある(?)小学生20人が参加しました。こわい絵本の読み聞かせや明かりを消しても楽しめる“すばなし”などを行いました。おはなし会のあと、お母さんとしっかり手をつないで帰る姿が微笑ましかったです。

夜のこわいおはなし会は、来年度も開催予定です。閉館後の普段は入れない図書館に興味をもったそのあなた、ぜひ体験しにきてください。

8/9(水)に開催しました



当日のプログラム



『とうふこそう
(京極夏彦の妖怪えほん笑)』
作：京極夏彦
絵：石黒亜矢子
編：東雅夫
岩崎書店

読書の秋の講演会

「落語と読書」

落語家、入船亭扇蔵師匠をお招きし、古典落語3席と本の紹介を行う「読書の秋の講演会 落語と読書」を開催しました。

一席目の演目は「目黒のさんま」。殿様が庶民の魚であるさんまを食する落語です。落語の後、江戸の食文化についてもお話をいただきました。二席目は「親子酒」。お酒が大好きな大旦那と若旦那の落語に、会場も大笑いでした。三席目は「子は鏝」。妻子と別れたことを悔やむ主人公が、再会してよりを戻すお話です。両親を愛する子の可愛らしさと

7/29(土)に開催しました



演目「目黒のさんま」を演じる
入船亭扇蔵師匠

入船亭扇蔵師匠の巧みな話しぶりに、涙を流す方が多数いらっしゃいました。本の紹介では「松本清張」の本について紹介いただき、落語と読書が好きになる楽しい講演会でした。

1/13
土曜

バリアフリー映画上映会 「舟を編む」

バリアフリー映画とは、音声ガイドと日本語字幕がついた、より多くの方が楽しめる映画です。音声ガイドを聞くことによって、見落としていた映像に気づくことができたり、聞き取りにくかったセリフが字幕で確認できたりします。

日時 1月13日(土) 午後1時半～3時半
場所 中央図書館(教育会館)3階「ぎんが」
定員 100名(要申込)

受付期間 12月15日～22日
受付方法 オンライン手続き・電話・FAX

2/3
土曜2/10
土曜

学びのプレゼン講座 「作って楽しい!解いて楽しい! クロスワードパズル」

2日間にわたる連続講座です。この講座で作成したパズルは、後日、区立図書館・図書室・図書館カウンターにて配布させていただきます。

日時 2月3日・10日(土) 午後2時～4時
場所 中央図書館(教育会館)3階「ぎんが」
定員 25名(要申込)

受付期間 1月12日～1月19日
受付方法 オンライン手続き

3/9
土曜

郷土資料館との連携事業 「昭和時代へ時間旅行 ～ 回想法でタイムスリップ～」

回想法とは、昔の懐かしい物を見たり触れたりしながら思い出を語り合うアメリカで生まれた心理療法です。認知症予防に効果があるとされている回想法を体験してみませんか?

日時 3月9日(土) 午前10時～正午
場所 中央図書館(教育会館)3階「ぎんが」
定員 20名(要申込)

受付期間 2月1日～15日
受付方法 電話

*詳細はホームページ・ちらしでご確認ください。



『葉っぱのフレディーいのちの旅』
作：レオ・バスカーリア
訳：みらいなな
画：島田光雄
童話屋

手に取っていただきたい1冊です。
挿絵や写真が美しく子どもから大人まで

『葉っぱのフレディーいのちの旅』
子どものころ、よみかかせしてもらった本が図書館に並んでいるのを見つけ、20年ぶりに手に取ってみました。
葉っぱの春夏秋冬を人生になぞらえたおはなしです。フレディーは大木の葉っぱの1枚です。この春に生まれ、夏には厚みのある力強い体に成長しました。フレディーには同じ季節に生まれた葉っぱの友達がいいます。物知りのダニエルはフレディーの親友で、フレディーが葉っぱであることや季節が巡ることを教えてくれました。秋になると葉っぱたちはいっせいに紅葉し、人々の目を楽しませます。しかし、風が冬を連れてくると葉っぱたちをつぎつぎ落としていくのです。自分のいのちのおわりを不安に思っているフレディーにダニエルは「死ぬことは変なことのひとつで、変化はあたりまえのこと」と声をかけます。

C.T.さんの
わたしの推しの1冊



応募方法

投票箱に原稿用紙で提出ください

- ・設置場所 中央図書館地下1階コピー機前
- ・文字数 200～400時程度

あなたの推しの1冊を「ざ・ちゅうおうふれす」でご紹介くださいますか?

本が大好きなみなさんをお願いします。本誌紙面上で、みなさんとふれあう機会があったらいいなと思い、みなさんからの投稿コーナーを作ることになりました。ぜひ、推しの1冊をご紹介ください。お待ちしております。

*ご紹介いただく本は、世田谷区立図書館で借りた本、所蔵している本に限ります

[編集後記]

今年の夏は、ほんとに暑かったですね。気象庁によると、最高気温が35℃以上は猛暑日、30℃以上は真夏日、25℃以上は夏日というそうです。今年の東京は、9月末で真夏日が90日を超えています。寒い冬よりも暑い夏のほうが好きな私ですが、さすがにここまで暑い日が続くと地球が心配にな

ります。これまでの常識やそれに基づく予想を超える異常気象が次々と起こり、改めて自然の恐ろしさと大切さについて考えさせられます。

この108号が発行される頃は、紅葉の季節ですね。美しい日本の四季、いつまでも変わらずに願うばかりです。(M.Y)

ポピュラーフロアスタッフおすすめ



人生100年時代 50代からの金のお金の基本

監修：馬養雅子
新星出版社
書誌番号：006509435

定年後、家計の支出としてどのようなものが必要になってくるのでしょうか。例えば医療費については、自己負担限度額はどのようになっているのか、医療保険が適用されるものと適用されないものの違いは何か。介護施設については、どのような種類の施設があるのか、その費用はいくらになるのかなど。本書では、定年後に必要なかもしれない金のことについて、紹介されています。また、収入については、年金の受給開始時期を早めた場合や遅くした場合の影響について。早期退職制度を利用した場合のメリットとデメリット。定年後の様々な働き方や、資産運用などについても記載されています。

人生100年時代、老後資金を考えるためのヒントとしてみてはいかがでしょうか。

人文・社会フロアスタッフおすすめ



今日も小原台で叫んでいます —残されたジャングル、防衛大学校—

著：ばやばやくん
KADOKAWA
書誌番号：006505466

皆さんは防衛大学校を知っていますか？将来の幹部自衛官を育てる横須賀市にある教育機関です。この本は、防衛大学校出身の元自衛官がこの施設について楽しく書いた本です。

入学したての1年生を待つ大変な毎日。先輩からの指導もたくさんあります。読み進めるたび1年生はなぜこんなにも不条理なのだろうと思いますが、ここの卒業生は曹長という階級に任命されるので、一番下の立場を経験するのは1年の時だけだからとか。

体育会系の世界をなるべく避けて生きてきた私にとって、このような環境に身を置いて生活していることだけでも頭が下がるのですが、卒業生の皆さんが日本を守る自衛官になっていくことに頼もしさを感じます。

自然科学フロアスタッフおすすめ



南極探見500日 —岩手日報特別報道記録集—

岩手日報社
書誌番号：006496272

「地球の環境センサー」とも呼ばれる南極。そこで活躍する南極地域観測隊に岩手日報社の南極支局員として同行した記者の500日超の密着取材の記録です。

「南極の不思議」「研究・観測最前線」「教えて！南極ライフ」の3章からなり、南極観測の歴史から最新の調査、日々の生活などを豊富な写真でわかりやすく紹介しています。二次元コードを読み取ることで移動基地室内の様子や最強A級ブリザードの様子などを動画で見ることでもできます！

ページをめくりながら、今日も「宇宙よりも遠い場所」で観測や基地の運営に奮闘しているであろう隊員に、思いを馳せてみてください。

子どもフロアスタッフおすすめ



ようこそ！虫のぬけがら博覧会

写真・文：森上信夫
少年写真新聞社
書誌番号：006514221

ぬけがらには、自然界を生き抜く虫たちのドラマがあります。セミや水中昆虫のタガメのドラマを、あなたも覗いてみませんか？

種類や成長段階で、ぬけがらの形は様々。イモムシ・ケムシは、脱皮の際に顔とからだで2つに分かれます。彼らのユニークなお面は、見比べるだけでも楽しいですよ。ほかにも、なぜそんな場所？と思わず聞きたくなる、ぬけがらたちの写真を集めたページもあります。

巻末には、ぬけがらを取り扱う際のポイントが書いてあるので、初めての人でも大丈夫。読み終わる頃には、ぬけがら探しに行きたくなること間違いなし！ぬけがらをとことん楽しみましょう。

